



すずらん 第47号

発行日：平成25年4月1日

発行元：社会福祉法人すずらの会 理事長 大長義信

編集：広報委員会

〒252-0328 相模原市南区麻溝台7-1-7 TEL: 042-749-8881

URL: <http://www.suzuran.or.jp>

法人理念

〔基本理念〕

私達の願いは、地域社会の中で誰もがバリアフリーな暮らしを営むことが出来るようになることです。障害児者福祉の一翼を担う私達は、人の持つ無限の能力を信じ、それが十分に発揮されるような環境作りを目指します。

〔経営理念〕

1. 私達は地域の一員となり、地域と手を携えて福祉の向上に貢献します。
2. 私達は広い視野に立ち、法人活動を通じて有用な福祉サービスを提供することにより、障害のある人たちの社会的自立を応援します。
3. 私達は常に開かれた法人経営を目指し、全てに公正かつ適切であることを誓います。

新年度に向けて

理事長 大長 義信

ことのほか冷たく寒い冬を過ごしましたが、ようやく桜の季節を迎え過ごしやすい日々の訪れが待ち遠しい時節になりました。

前期の法人傘下の事業所運営は、それぞれに紆余曲折もありましたが、総じて概ね順調と云える結果で終了する事が出来ましたことは、地域の皆様の暖かいご支援やご協力の賜物と常日頃から感謝しております。これからも有用な地域の福祉資源と認めて頂けるよう法人を挙げて努力してまいります。

新しい年度が始まるにあたって私達は、法人事業を遂行する際の基本的な価値観と目的意識を経営理念と云う形で

明確にすることにしました。もともと掲げていた法人理念に経営理念をつけ加えることにより、全職員の法人事業に携わる際の行動規範にしたいと考えました。福祉に対する思いはひとりひとり異なるものですが、法人の組織の中では皆同じ方向を向いていなければなりません。近時、社会福祉法人に対しても運営より経営、更には経営感覚の醸成などと云われるようになりました。私達は法人経営の意味を組織力を生かした事業運営ととらえ、傘下の事業所の運営に際しては、常に法人全体の動向を視野に入れて行動することを全職員に求めています。

基本理念と経営理念が、法人と云う車の両輪となって地域福祉の更なる向上に貢献できる様になることを願ってやみません。

平成25年度事業運営について

総合施設長 松屋 直人

今年度からは、障害者の福祉サービスについては、障害者自立支援法が廃止され、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(障害者総合支援法)の下での運営となります。実質的には自立支援法と同じ内容の法律への変更ではありますが、これに伴い、利用契約の締結等が必要となります。お手数をお掛けしますが、ご協力をお願い致します。

さて、1月に4年振りの県による法人監査と大和市所在事業所への実地指導が実施されました。指摘を受けた点については、今年度からの運営に反映させていかなければならないのですが、理事会の運営への関与、各種支援サービ

ス委員会を中心に行っているサービス向上に向けた取組等を評価いただき、文句ばかりを言われるのを覚悟していた我々にとって、嬉しい出来事でした。これをバネに、更なるサービス向上に向けて、職員一丸となって、取組んでまいります。

今年度は、平成26年度に計画している作業所から法内移行した事業所の環境整備及び当法人に不足している事業の追加を目的とした新規事業所の具体化の年でもあります。施設整備に関する補助金を受けずに、自己資金のみでの実施となりますので、より計画的な財務運営にも心掛けていきたいと思っております。

我々の使命である、必要とされる良質なサービスを、適正に提供する事を目指して、着実に各事業所の運営を行っていききたいと思います。

◀ワークショップ・SUN 横山 開所▶

3月1日、新しい就労継続支援B型事業所「ワークショップ・SUN横山」(定員20名)を開設しました。相模原市役所から徒歩圏内にあり、2階建て総面積658.4m²の建物です。施設設備は作業効率を高めるためにフォークリフト類やエアコンプレッサを導入しております。急な開所となりましたが3月1日に無事スタートを切る事ができました。

引き続き皆さんの「働く意欲を大切に」工賃向上を目指しながら、就労支援と授産活動に力を入れて進めていきたいと思っております。また、作業スペースが拡大しましたので、受注企業の開拓も進めて参りたいと思っております。

また、定員については今後増員して行く計画です。



住所：相模原市中央区横山2-7-7

電話：042-707-1831

FAX：042-707-4338

《すずらの家》

クッキーの店頭販売及び出張販売(定期的)を行っています。口コミ・リピーター共に増えており嬉しく思っています。今後は、前号で紹介をした「テミル」事業による販売網の拡大を予定しており新商品も企画中です。

- ※クッキー・ケーキ・焼き菓子の店頭販売及び出張販売
 - ・市民健康文化センター
 - ・高齢者施設(3箇所)・座間養護学校
 - ・相模原市内の企業 etc
- ※職場体験学習受け入れ・・・中学、高校生



《ぱれっと 児童》

保育園や幼稚園、学校、医療機関、福祉事業所などの各関係機関との連携を大切に、地域に根差した包括的な支援を心がけています。また、講演会等も行っています。

- ※利用児の学校訪問
- ※関係機関参加のケースカンファレンス出席
- ※専門職講師の派遣
 - ・職員派遣・・・相模原療育園(言語聴覚士)etc
 - ・外部講演・・・ワーカーズコレクティブ想、厚木市通級指 教室(ことばの教室)研究部会、海老名市特別支援教育連絡協議会通級研究会 etc



《ワークセンターやまと》

施設外作業での訓練活動によって毎年3~4名の方が、一般企業へと就労されます。就労先企業及び各養護学校、市町村、各関係機関との情報交換を密にしています。また、自主製品にも取り組んでいます。

- ※施設外就労・・・大和市内物流会社
- ※自主製品販売(ぼち袋、祝箸、ふくろう、コースター、しおり等マーブリング製品)
 - ・カックオフフェスタ(大和市民活動センター)
 - ・大和市障害者自立支援協議会主催イベント etc
- ※清掃ボランティア・・・晃風園
 - ・大和市主催 駅周辺
- ※パソコン訓練・・・シニアボランティア交流



《余暇支援》

土曜日の余暇支援活動に多くの講師の方やボランティアの方が協力して下さっています。

- ※講師及びボランティア交流会の開催
 - ・絵画・料理・ゴルフ・カラオケ
 - ・華道・ボウリング・ティーボール
 - ・英会話・サウンドタイム



《グリーンハウス》

スワンベーカーリーと農園班では、相模原全域で行われる地元祭りに参加させていただき、パンや野菜を出店しています。また、スワンベーカーリーでは、大学やスーパー、護学校、他福祉法人、相模原市内の企業の協力により、パンの出張販売を定期的に行っています。おかげさまで好評をいただいております。販売を通じてすずらの会を知ってもらえる良い機会になっています。

- ※ログハウスによる店頭販売及び出張販売
 - ・相模原市全域の地元祭り
 - ・相模原女子美術大学・スーパー三和
 - ・日本フルハーフ(株)・シア神奈川工業団地 etc
- ※職場体験学習受け入れ・・・中学、高校生
- ※ソーシャルワーカー実習受け入れ・・・大学生



《大和市障害者自立支援センター》

就労移行支援の他に大和市在住で障害のある方、そのご家族・関係者に相談支援を行っています。

- ・支援プラン作成・情報提供・職場開拓・継続支援
- ・関係機関との連携調整
- 【Café ふらっと】喫茶店の営業を通して地域の方々との交流をはかっています。ライブでは満席になった会場で楽しい時間を共有しています。
- ※【Café ふらっと】でのイベントの開催
 - ・音楽・・・クラシック、ジャズ、シャンソン、タンゴ、歌謡曲、児童向け etc
 - ・楽器演奏・・・アコーディオン、琴、クラリネット、フルート、ギター、フルート etc
- ※自治会夏祭り・装飾用花飾りの作成
- ※職場体験実習受け入れ・・・大学生・専門学校生 教員



《ワークショップ・フレンド》

一般企業への就労を目指すことを基本に、施設内作業の他に、企業内での作業(施設外作業)を行っています。また、毎年10名~15名の方が一般企業へと就労されるので、就労先企業及び市町村、各関係機関との情報交換や絆を大切にしています。

- ※就職活動・・・企業の開拓
- ※施設外作業・・・作業先の開拓
- ※中小企業同友会への加盟による情報交換
- ※職場体験学習受け入れ・・・中学、高校生
- ※職場体験実習受け入れ・・・大学生、他福祉法人職員、愛川町教育委員会
- ※地域清掃ボランティア・・・原当麻駅周辺、施設周辺
- ※各学校行事への参加・・・卒業式他
- ※各学校で施設の説明会を開催



《ぱれっと 生活介護》

高齢者施設へボランティアとして風船バレーや創作活動を行っています。地域自治会では、お茶会参加による歌や踊り創作活動に取り組んでいます。相手に喜ばれる事で必要とされる喜びをぱれっと利用者も感じています。

- ※高齢者施設でのボランティア
 - ・風船バレー
- ※地域の方との交流会
 - ・自治会館



特集『つながり』 地域社会の一員として

事業所ごとのさまざまな特色と取り組みをご紹介します。地域社会の一員として、これからも様々な事にチャレンジして行きます。



《ホームすずらん》

相模原市の住宅地内に9つのグループホームが点在しています。障害を持つ方が家族から離れ自立した生活を送る為に、支援を受けながら地域と密着した生活を営んでいます。その中で、少しでも地域住民として溶け込みたいという気持ちから一部のグループホームでは、「ふれあいクリーン作戦」と称して地域の清掃活動に取り組んでいます。

《ワークショップ・SUN》

施設内での作業と施設外作業を行っています。平成22年度は神奈川県でトップの工賃支給実績をあげることが出来ました。利用者への工賃維持のためにも協力をして下さる企業と地域との連帯を守っていきたく思います。また、新たに平成23年より自主製作品の販売も始めました。販売を通じ、公民館祭りなどに参加をさせていただくようになりました。今後も施設の存在や活動を地域の皆さんにお伝えし交流のきっかけとしたいと思っています。

- ※自主製品委託・出張販売(デコパージュ品:石鹸、ネームホルダー等)
 - ・YSPS清新店
 - ・星ヶ丘、横山公民館祭り etc
- ※職場体験学習受け入れ・・・中学、高校生



父母会役員との交流会

サービス向上委員会 澁井 泰子

昨年12月に、今年度で3回目となる父母会役員さんとの交流会を行いました。交流会の目的は法人の活動を直接、報告してご理解いただき、また保護者の方から貴重なご意見を伺う機会を得るといったものです。役員さん8名とサービス向上委員会のメンバー11名、そして今年度は法人の余暇支援活動について報告させていただきましたが、余暇支援委員会の辰口委員長の参加を得て総勢20名で、すすらんの家のケーキをいただきながら和気あいあいとした交流会になりました。

辰口委員長からの報告を受けて、役員さんからは余暇活動の内容を広げてほしい、参加することでスキルが上がる支援をしてほしい、活動の様子が見えるような紙面での広報をしてほしい等意見がありました。早速、委員会で検討を始めております。

また父母会の運営に関してのご心配や思い、法人と共同で活動するイベントに対してのご意見等を、伺うことが出来ました。交流会の回を重ねるごとに忌憚のないご意見を伺うことが出来、保護者の方の声を伺う貴重な機会であると再認識できました。今後もこの交流会を継続して保護者と私達支援者との連携を深めていきたいと考えています。



《きらっと輝く製品コンテスト入賞！》

平成25年1月23日(水)神奈川県民ホールにて、神奈川セルプセンター主催による自主製品のコンテストの表彰式が開催されました。神奈川県下の就労継続支援B型等の49障害福祉施設事業所が表彰され、非食品



部門でワークショップ・SUNの【ネームホルダー】が優秀賞に選ばれました。デコパージュをあしらったネームホルダーは、名刺やスイカ・パスモが入る製品で、今後も地域のお祭りや、

提携先のスーパーやコンビニエンスでの販売を続ける予定です。

食品部門では、グリーンハウスから「大根のピール漬け」、すすらんの家からは「クッキーの箱詰」が努力賞に選ばれました。どの製品も素材や味にこだわり、利用者さんが丹精込めて作った製品です。各事業所で販売をしておりますので、是非ご賞味ください。

また、企業表彰では県内の障害者施設へ年間100万円以上作業受注し、10年以上継続している企業の中から10社が表彰されました。

すすらんの会が推薦をした住友スリーエム(株)様・清水一産業(株)様が表彰され、当法人も少なからず取引先企業様に貢献出来た事を喜ばしく思います。



フレンドリーサービス事業廃止

代表 久保 友子

平成7年4月にサービス提供を始めた相模原市在宅障害者家庭内作業指導事業フレンドリーサービスは、平成25年3月末をもちまして事業の廃止をいたしました。長年にわたるご理解とご協力に心から感謝しています。

様々な理由で外出が困難になった障害者の方たちに仕事の提供を基本とした訪問を重ね、社会との橋渡しとして信頼関係を築いていく中で、利用者が希望を持ち続け、もう一度社会に目を向け意義ある一歩を踏み出せるよう、ゆっくり利用者と共に歩み、個々の方々に合った支援を続けてまいりました。

作業を通し、時には優しい言葉で、時には厳しく声をかけることもありました。支援をしているつもりが、逆に利用者から元気を頂くこともたびたびあり、これも長年築いてきた相互の信頼関係によるものと深く感謝しています。

市からの補助金の打ち切りを受け事業は廃止となりましたが、この訪問サービスを必要としている方々がいる以上、サービス提供を止めるわけにはいかないという思いを法人に支えられ、これまでの訪問サービスを続けられる方策を検討したところ、就労継続支援B型の在宅者訪問支援というサービスで訪問を継続することといたしました。このサービスをご利用いただくには支給申請という手続きを踏まなければなりません。フレンドリーサービスの利用者はこの手続きを踏むという社会との接点を持つことが苦手です。就労継続支援B型への支給申請に至らない利用者が数名います。法人独自支援として関わりは続けますが、この方たちの今後を考えると心配でなりません。法の狭間にいる利用者への支援を市も一緒に考え続けてくださることを切に希望します。

編集後記

一年を通して「つながり」についてお伝えしてきましたが、まだまだ伝えきれない程、地域や企業とのつながりがある事に驚きました。これからも、地域の一人としてそれぞれの役割を担って行く事を願っています。 広報委員：三室・阿部

ご支援ありがとうございます

～寄付～

- ・住友スリーエム(株) 労働組合 様

～寄贈～

- ・TMP(株) 様 空気清浄器
- ・荒井 芳行 様 ビニール傘600本

